



2021年2月5日

東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当大臣 橋本 聖子様

日本 YWCA 会長 藤谷佐斗子
総幹事 尾崎裕美子

森喜朗東京五輪・パラリンピック組織委員会会長の女性蔑視発言に対する抗議声明

森喜朗東京五輪・パラリンピック組織委員会会長が2021年2月3日の日本オリンピック委員会(JOC)臨時評議員会において行った一連の発言は、日本国憲法ならびに日本が批准する複数の国際人権条約・オリンピック憲章を含む国際人権基準に根本的に反する、ミソジニー(女性蔑視)と偏見に基づく差別発言であり、到底看過できるものではないことは言うまでもありません。

森会長は4日にこの発言を謝罪し撤回していますが辞任は否定しています。極めて公的な立場においてあからさまなジェンダー差別を行いながら、その責任が問われないままになることは、社会が女性への抑圧・蔑視を、言外に、しかし明確に許容することにつながります。加えて森会長は、過去にも悪質な差別発言を指摘されながら公的地位に就き続けています。

ミソジニーと偏見が黙認され続ける社会では、幼少時から人生のあらゆるステージでジェンダー・バイアス(性差による先入観)が植え付けられ、再生産されます。今回のJOC評議員会での発言、そしてその場で「笑いが起きた」という状況は、将来にわたって女性たちの声と尊厳を奪おうとするものです。

日本は女性差別撤廃委員会(CEDAW)を含む複数の国際人権条約委員会から受けた勧告の多くが未履行のまま度重なる再勧告を受けており、「ジェンダー・ギャップ」指数は153か国中121位という水準にあります。ミソジニーの再生産を止め、社会を変える必要があります。

日本YWCAは、「若い女性をエンパワーし、共に社会変革を進める」というミッションのもと、第5次男女共同参画基本計画への意見提出を含む多くの発信を行っています。若い女性たちが本来持つ権利を享受し、自らの可能性を万全に追求できる社会を求める立場から、今回の発言に強く抗議し、森喜朗東京五輪・パラリンピック組織委員会会長の辞任を求めます。

日本 YWCA

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11 東京YWCA会館 302号室
TEL: 03-3292-6121 FAX: 03-3292-6122、e-mail: office-japan@ywca.or.jp